

## 学部長あいさつ

### 「ご卒業おめでとうございます！」

SGS News Letter 第12号をお届けします。

多摩大学グローバルスタディーズ学部の7年目が終わろうとしています。この季節は卒業生が学び舎から旅立つ時期であり、一抹の寂しさを感じさせられます。その2週間後には、新入生がキャンパスに集結し、期待や活気と、若干の不安が交差する季節になります。

そこでこの3月発行のニュースレターは、卒業式ということで、恒例の卒業生のためのフレーズ集とさせていただきます。今年は100名余を社会に送り出すことができました。

皆さんご卒業おめでとうございます。

今年の卒業生に贈る言葉は、「一步踏み出す勇氣」です。これは、本学1年生の本田尚さんが、「社会人卒、40代（アラフォー）の多摩大生」と題した記事を『学生ジャーナル』に投稿してくれた中であつたフレーズです（本人の許可を得て引用）。卒業生の皆さんには、今後社会人として様々な経験を積んで欲しいという願いからこのフレーズを贈ることにしました。これから社会に出る皆さんにとっては、人生における新たな一歩、不安や期待、成功や挫折、責任のある行動を取れるか否かなど様々な思いが交錯することでしょう。言葉としては単純ですが、実際に行動に移そうとすると意外に難しいことと感ずるでしょう。また、自分が置かれている環境が目まぐるしく変化することもあるでしょう。このままでいいのだろうか、きっとこれでいいのであろうと迷いながら方向性を見出そうとする気持ちが出てくるかも知れません。そのような時、前進することが、迷いから抜け出すための第一歩だと思ってください。これは卒業する4年生だけが経験することではありません。私達教職員や保護者の皆様も過去に経験したことです。

もう1つ紹介したいフレーズは、「prepare early to stand a chance」です。これは卒業生、在學生、新入生を問わず皆さんに考えてもらいたいことです。「競争に勝つために何事も早めに準備しよう」という意味です。準備をしっかりすることで、チャンスを掴むことが多くなり、成功する可能性が広がります。時と場合によりますが、皆さんは準備を怠ったことでチャンスにすら気づかずに学生生活を送ってきたことがあるかも知れません。私の場合、振り返るとそうしたことが幾度かあったような気がしています。今更後悔しても仕方ありませんが、若い皆さんには、準備することの大切さを考えて欲しいと思います。

この2つのフレーズは、文化は異なりますが、意図することは同じと言えます。「一步踏み出す勇氣」は、チャンスをものにするために前向きに動き、「prepare early to stand a chance」は、準備せずにチャンスは巡り回ってはこない。そのためには、周りよりも一歩先に動き出す必要がある。「チャンスは行動から」とも解釈できます。それほど努力をせずに、受け身な態度だけでは、大学や社会では通用しません。自らが動くことです。

グローバルスタディーズ学部では、学生が受け身になりがちな状況を打開するため、アクティブラーニング、すなわち双方向授業を重要と考えて学生を育てています。卒業生の皆さんは本学で培った経験に自信を持ち、一步踏み出してください。そして、その前に競争を勝ち抜くために様々な準備をしてください。

シンプルなことができずに苦労しているのが世の中の常ではないでしょうか。今後、私たち教職員も学生の学習姿勢に敏感に対応していかななくてはと改めて気を引き締める思いです。



学部長 安田 震一  
(ヤスダ シンイチ)  
William Shang  
(ウィリアム シヤング)



#### 今後のスケジュール

- 3月20日(木)  
学位授与式・卒業式
- 4月1日(火)～4月5日(土)  
オリエンテーション
- 4月7日(月)  
入学式
- 4月8日(火)  
春学期 授業開始
- 4月14日(月)～4月18日(金)  
春学期 履修科目登録期間
- 4月25日(金)～5月1日(木)  
春学期 履修科目確認期間
- 4月29日(火・祝)  
昭和の日(授業あり)
- 5月14日(水)～5月20日(火)  
春学期 履修科目中止期間
- 6月7日(土)  
TOEIC試験

発行責任者:  
学部長 安田 震一

多摩大学  
グローバルスタディーズ学部

〒252-0805  
神奈川県藤沢市円行802番地  
TEL: 0466-82-4141  
<http://www.tama.ac.jp/>

## 「多摩大学 藤沢観光まちづくり大学院2013」開催報告

2014年2月8日(土) 9:30~18:15 財団法人湘南産業振興財団 研修室にて「多摩大学 藤沢観光まちづくり大学院2013~いま最も効く観光まちづくりプランナー養成講座~」を開催しました。

1日完結講座で、5つの講義後、ワークショップでのプラン作成と発表会という充実した内容で行われました。当日は、何十年ぶりという大雪にもかかわらず、25名の熱心な受講者が参加くださいました。受講者の多くが藤沢市内在住で、終始、今回のテーマである「藤沢観光まちづくり」への関心の高さが窺える熱気こもる講座となりました。

講座の開始にあたり、鈴木恒夫 藤沢市長より藤沢市の観光事業に対する期待を込めて、ご挨拶をいただきました。

第1講~第5講まで、多摩大学 経営情報学部とグローバルスタディーズ学部、大学院の教授陣がそれぞれの専門に根差した講義を行いました。その後、5グループに分かれてワークショップを行い、「藤沢観光まちづくり」のプランを作成しました。KJK法によるアイデア出しをとりまとめ、グループごとに全員が発表を行いました。地元目線でのプランには、インパクトのあるアイデアがたくさんあり、講師による評価も大変高いものでした。

ワークショップでの交流により、参加者同士のコミュニケーションも深まり、講座の今後の展開を期待する声も多く聞かれました。受講者全員に修了証を授与し、講座は終了いたしました。



### 学生会企画 秋~冬イベント 開催

## “Winter Holiday Party” & “SGS Winter Music Fes 2013”

12月20日(金)に“Winter Holiday Party” & “SGS Winter Music Fes 2013”を開催しました。昨年までは、2つのイベントを別日程で実施していましたが、今年度は合同開催としました。

音楽部門では、ギターの弾き語りでクリスマスパーティーのムードを高めました。寸劇部門では、学園祭で地域住民から大絶賛を受けた学生防犯パトロール隊「たまパト」による振り込め詐欺の劇を披露、演技力の高さを感じました。

Present Hunter (宝さがしゲーム)では、参加者全員真剣に取り組んでいる様子が感じられ、また、3チームに分かれ教職員と学生の共同作業品による手作りケーキコンテストを行う等、教職員と学生との交流を深めた素敵な年末イベントとなりました。



## 2014年度カリキュラム

開学から8年目を迎える多摩大学グローバルスタディーズ学部(SGS)では、加速するグローバル社会に対応するために2014年度カリキュラム(教育課程)を従来の3コース制から、ホスピタリティ・マネジメントコースと国際教養コースの2コース制に、再編成しました。

グローバル社会で必要とされる「グローバル人材」のイメージとしては、従来は主として国外で国際協力分野やビジネス分野で活躍できる人材を意味することが多かったですが、現在では、日本から海外へと進出してだけでなく、海外から日本へやってくる人達との関わりの中で活躍できる人材をも意味するようになっていきます。こうしたグローバル人材は、ホテルなどを始めとするホスピタリティ(サービス)産業だけでなく、他の国内産業においても海外出張、海外勤務などの海外部門とのやりとりを通しての活躍が望まれ、その活躍の場は国内外のあらゆる場面に広がっています。

このような社会の変化に伴い、SGSでは国内でも国外でも通用する教養を基礎に、英語コミュニケーション力を身につけた、バランス感覚に優れた人材の育成を目指します。

今までのカリキュラムでも重視していた、英語コミュニケーションスキルの習得、TOEICのスコアアップに関連した科目を充実させ、新たにビジネス英語、観光英語、メディア英語と目的に特化した英語上級科目を展開していきます。これらの科目で社会人が必要となる英語力の基礎を作ります。

また、中国語学習科目を新たに設置し、観光・レジャー・ホスピタリティ分野科目も従来の科目に新規科目を加え一層の充実を図ります。

これらは2014年度入学生カリキュラムとして構築されていますが、在学生に対しても可能な限り既存のカリキュラムに組み込み、学べるようにいたします。

## キャリア支援課

本学部4年生(2014年3月卒)の2月17日現在の内定率は、約80%です。今年度は、企業の採用意欲が増していることにより、全体的に求人数が増加しています。未内定の学生も着実に就職活動を続けていますので、個別指導を徹底することにより、年度末までには、ほとんどの学生が適職を探すことができると思われます。

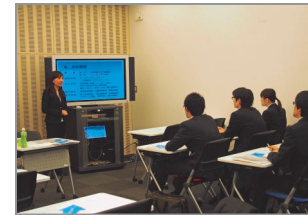
(主な内定先は別表1参照)

3年生は、昨年の12月から就職活動を開始しました。この時期に合わせて、学内合同企業説明会(11社)を開催し、多くの学生が参加しました。また、2月と3月には、各14社をお呼びし、学内合同企業説明会を開催する予定です。既に、多くの学生がエントリーシートや履歴書を提出し、筆記試験や面接を受けるなど、本格的な就職活動が始まっています。本学部の3年生は、就職委員の教員による進路面談(年2回)と、キャリア支援課職員による面談(11月)も行っていますので、順調に就職活動を進めることができます。

別表1

2014年2月17日現在(重複内定含む)

主な内定先		
製造業	三菱自動車工業、中川装身具工業、SIAC Pte Ltd、ナガタベルリッツア、山田医療照明	
情報通信業	ヒューマンクレスト、ネオプロモーション、シムテック、アクセスネット、アイフレッジ、SGS	
運輸業、郵便業	全日本空輸、東日本旅客鉄道、エリアリンク、丸全昭和運輸、トレーディア、エアポートカーゴサービス、日本トラフィックサービス、新開トランスポートシステムズ	
卸売業、小売業	イッセイミヤケ、青山商事、島忠、スタイラ、フルラジャパン、ルネ、梅田モーターズ、横浜日野自動車、ハヤシゴ、プリモ・ジャパン、グリムス、馬里奈、横浜商工、カフェレオ、アートインターナショナル、ネットヨタ湘南、神奈川ダイハツ販売、シュガーマトリックス、バルス、小泉、ハナムラオブティクス、ワタナベ、三栄、みのや、ヤマトドレス、ニューウェイジャパン	
金融・保険業	富国生命保険	
不動産業、物品賃貸業	住友林業ホームサービス、THR住宅流通グループ、ケインズ、ウスイホーム、ユミーネット、アールエスエス、ナイスコミュニティー、日本エスコ、ボルテックス	
飲食店、宿泊業	京王プラザホテル、富士屋ホテル、四季リゾート、東急ステイサービス、アパホテル、リゾートトラスト、オノゼキトレディング、エスエルティ、日本レストランシステム、あきんどシロ、ユナイテッド&コレクティブ、ホットランド、フクシマ商事、クリエイティブ・レストランズ・ホールディングス、くらコーポレーション、カトーブレジャーグループ、シュガーレディ	
医療、福祉	ランドネクス	
教育、学習支援業	さなる、秀英予備校、ティルウィンド、ライフツリー、アイドゥー、日本ライセンスバンク	
サービス業	専門サービス	翻訳センター
	生活関連サービス業	エイチ・アイ・エス、ジンコーポレーション、トリート
	娯楽業	ダイナム、ニラク
	その他のサービス業	インター・ベル、トランスコスモス、アクア・グラツィエ



## 国際交流課

### 交換留学生送別会

1月でシンガポール ナンヤンポリテクニクからの2名の交換留学生在が帰国するにあたり、1月14日(火)には、着物で日本留学体験報告会、16日(木)には送別会を兼ねた餅つきパーティーを行いました。当日は昨年同様、藤沢市の地域活動団体『こめこめクラブ』の皆様にご大変わ世話になり、50名ほどの学生・教職員がつきたてのお餅を堪能しました。

### 春期留学プログラム出発

春休みには21名が短期留学(米国、カナダ、オーストラリア、NZ)、3名が長期留学(ドイツ、オーストラリア、カナダ)に出発しています。

夏休みの留学プログラム説明会は、4月8日(火)・11日(金)ランチタイムを予定していますので是非ご参加ください。

奨学金(10万円・返還不要)は、英語力・成績に関わらず応募可能です。



一番人気は、ポテトチップをまぶしたお餅でした。



ドイツからの交換留学生 Verena (フェレーナ)さん(左)は、春学期も引き続きSGSで勉強します。一生懸命日本語を学んでいますのでキャンパスで見かけたら気軽に声をかけてください。

## 新年度学生会執行部 始動

学生会は会員(在学生全員が会員)の総意に基づいて、組織内に所属する各種団体、サークル活動を通じ、より良い学園生活、学生活動を行うため、学生全体の発展、本学の発展・向上、および地域に貢献することを目的としています。

学生会では、1月に平成26(2014)年度学生会会長選挙を実施し、2年生の曾我菜さんが選出され、学生会執行部役員が任命されました。新体制のもと、学生会の活動(学内イベント、学園祭、サークル、地域貢献)に参加し、リーダーシップ力を養い、協調性を身につけるなど、全学生が積極的に取り組むことを期待しています。

### 平成26(2014)年度 学生会執行部

部長	曾我菜 (2年)
副部長	木村慶彦 (2年) ・ 小山遥花 (2年)
書記	近藤あゆみ (2年) ・ 馬淵弥史 (1年)
会計	角田彩乃 (1年) ・ 田畑空音 (1年)
学園祭実行委員長	山本有紀 (1年)
サークル連合代表	大高真友 (1年 多摩大学ECO多摩)





## Live Your Own Life

この3月末で定年退職いたします。多摩大学グローバルスタディーズ学部に着任して5年半になりました。保護者、学生、教職員の皆様には、さまざまなご支援をいただきSGSの4期生と共に卒業できることに感謝いたします。

思えば、ちょうど6年前の3月に朋友の寺島学長（5年前に学長就任）から出張先に電話があり、『学部長をやらないか?』、『4月から学長代行に復帰される野田一夫先生（初代多摩大学学長）に少しでも可能性があれば会ってみてくれ』ということから話が始まりました。大学の先生をやらないか?という話はあっても、まず学部長という話は余り聞いたことがありません。

異例づくしの中、2007年4月に設置されたSGSの2代目学部長に、半年かけて旧職を辞して2008年10月に就任することになりました。学部を新設した前学長も初代学部長も退任し、保護者様も学生も教職員も不安の中、試行錯誤で手探りの日々でした。最大のミッションは、とにかく、在籍していた2007年入学の1期生80名と2008年入学の2期生180名を何とか卒業させ、社会に出ることを手助けすることでした。国際教養豊かなグローバル人材を育成するという基本理念と、現実の就職環境と学生達の理想と夢、学部財政の安定、設立に集った教職員の思いなど様々な課題の中、この3月には4期生が卒業し、卒業生の総数が400名を超えることとなります。感慨無量です。

私の信条は、SGSは第一に学生とご家族の皆さんのためにあるということ是最初から変わらざるものでありました。この4月にはSGSは8期生の新入生を迎えます。まだまだ一桁の若い学部であります。SGSも社会経済の変化に柔軟に対応し、毎年毎年新しいSGSとなっていますが、SGSを決めるのは卒業生と在校生です。他のどの大学とも異なるSGSの環境の中で、夫々の学生と卒業生が誰の真似でもなく自分の人生を生きてくれることを期待して見守り続けたいと思います。

Shoichiro Matsubayashi  
定年退職：松林 正一郎 先生



(最終講義 2014.1.27 Leadership @E204)



## 異なる二つの世界で働いて

1971年、大学4年生の時、卒業論文以外の単位を取り終えていたので、海外で勉強しようと思立ち羽田空港からJALのジャンボジェット機に乗って初めて行った海外はハワイでした。自炊をしながらハワイ大学に通い、予習に追われワイキキビーチに一体何時行けるのだろうかと思いがらの生活でした。交換レートが当時1ドル360円の固定制で、日本がまだ貧しかったと記憶しています。

初めて社会で働き始めたのは1972年4月でした。当時は今の大学教育とは違って、キャリアや社会の仕組み等の教育は無く、何も分からずに働き始めました。女性が企業で働くことも今ほどには重要視されておらず、4年制大学を出ると就職ができないと言われていた時代でもありました。子どもの頃から『自分の口は自分で糊する』と決めていた私は、これから一生働くのだという気持ちで社会人1年生を迎えたことを今でも鮮明に覚えています。

企業人になってからはアジア諸国とアメリカを毎月の様に出張していました。80年代に女性が1人で海外出張すると珍しがられたものですが、今は「グローバル」という語を聞かない日がないほど、ビジネス界はグローバル一色です。男女の区別無く世界で活躍しているのを聞く度に、これから社会に出る学生さんたちには大いなるチャンスが待っているとと思います。

ビジネス界からアカデミックにキャリアチェンジをしたのが45歳の時でした。「ビジネスとアカデミックとどちらが良いですか」と学生に質問されることが多かったのですが「それぞれが楽しかったので、比較することは出来ない」と答えています。

40数年はとても短く、二つの異なる世界で働けたことは充実した人生だったと思えます。サミエル・ウルマンが『青春』の中で、Youth is not a time of life-it is a state of mind.と言っているように、逞しい意志と炎ゆる情熱で自分の望む人生を手に入れて欲しいと願っています。

Mitsuko Sato

定年退職：佐藤 美津子 先生

